

平成26年度の入札・契約状況

I 建設工事編

1 契約状況

平成26年度における建設工事の契約件数は、851件(一般:713件、指名:119件、随契:19件)で、契約額は約385億円(一般:約360億円、指名:約24億円、随契:約1億円)であった。

契約件数は、平成25年度、平成24年度と比較して23件増加しており、契約額は、平成25年度と比較して約63億円、平成24年度と比較して約58億円増加している。

平成26年度における一般競争入札の割合は、件数ベースで83.8%、契約額ベースで93.4%であった。

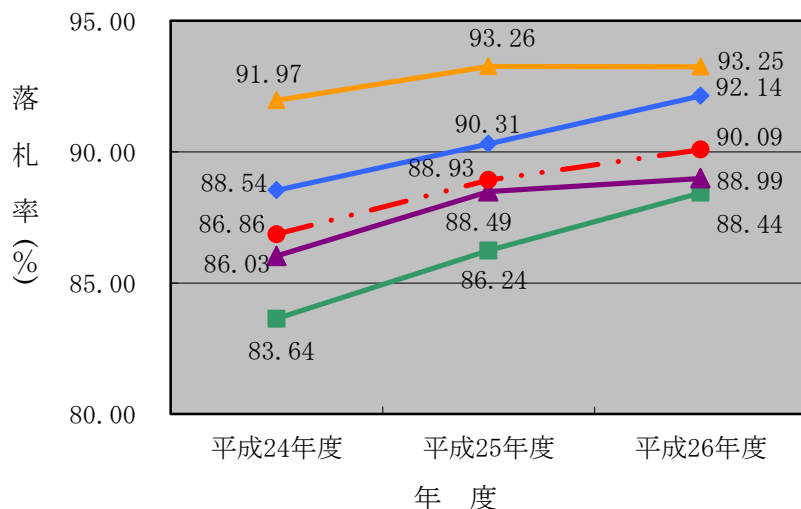
(1) 主なデータ

発注方式別の契約

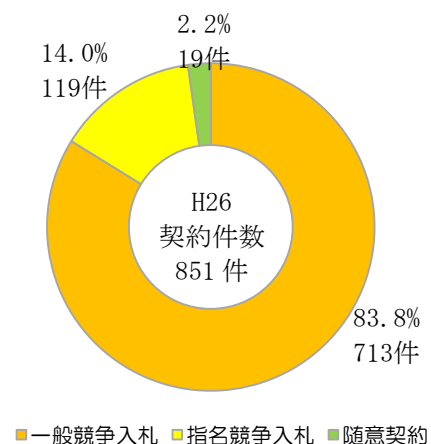
(単位：件、百万円、%)

区 分	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
一般競争入札	686	30,235	85.89	682	30,236	88.11	713	36,044	89.57
指名競争入札	130	2,297	91.97	130	1,839	93.26	119	2,391	93.25
随意契約	12	247	98.60	16	246	98.43	19	142	97.45
計	828	32,779	87.03	828	32,321	89.12	851	38,577	90.26
一般競争の割合	82.9	92.2	—	82.4	93.5	—	83.8	93.4	—

型式別落札率の変動



発注方式別割合



◆ 技術資料提出型 ■ 格付等級指定型 ▲ 総合評価方式
▲ 指名競争入札 ● 競争入札平均落札率

(2) 主要5工種の契約状況

工種別の契約状況

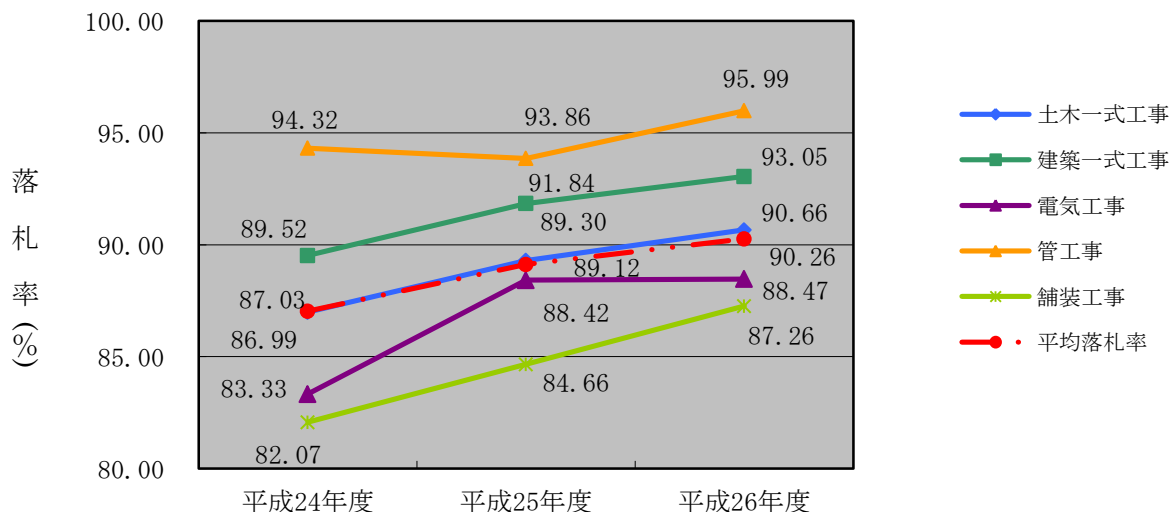
(単位：件、百万円、%)

区分	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
土木一式工事	490	18,893	86.99	512	17,746	89.30	540	19,612	90.66
建築一式工事	51	6,038	89.52	36	1,605	91.84	52	7,752	93.05
電気工事	51	1,926	83.33	48	1,570	88.42	54	2,181	88.47
管工事	40	1,497	94.32	23	720	93.86	17	1,269	95.99
舗装工事	89	2,033	82.07	81	1,666	84.66	89	2,142	87.26
その他工事	107	2,392	89.16	128	9,014	89.86	99	5,621	89.31
計	828	32,779	87.03	828	32,321	89.12	851	38,577	90.26

※その他工事：とび・土工、さく井、機械器具設置、建具、鋼構造、水道施設、造園、電気通信、塗装、内装仕上げ、防水工事

- ・平成26年度における建設工事の平均落札率は90.26%であった。平成25年度と比較すると約1%、平成24年度と比較すると約3%上がっている。
- ・最も落札率の変動が大きい工種は舗装工事で、平成25年度と比較すると約3%、82.07%(平成24年度)から87.26%(平成26年度)と3年間で約5%上がっている。
- ・落札率が最も高い工種は、管工事が95.99%であった。平成25年度と比較すると約2%上がっており、90%台を変動し最も高い落札率となった。
- ・落札率が最も低い工種は、舗装工事が87.26%であった。平成25年度と比較すると約3%上がっているが、80%台を変動し最も低い落札率となった。

主要5工種の年度別落札率



(3) 主要5工種におけるランク（工事等級）別の状況

- ・平成26年度における建設工事の主要5工種の平均落札率は90.38%であった。平成25年度と比較すると約1%、平成24年度と比較すると約4%上がっている。
- ・最も落札率の変動が大きい工種は舗装工事のCランクで、平成25年度と比較すると約6%上がっており、80.30%(平成24年度)から91.16%(平成26年度)と3年間で約11%上がっている。
- ・落札率が最も高い工種は、管工事のA等級で96.69%であった。平成25年度と比較すると約3%上がっており、90%台を変動し最も高い落札率となった。
- ・落札率が最も低い工種は、舗装工事のB等級で86.14%であった。平成25年度と比較すると約3%上がっているが、80%台を変動し最も低い落札率となった。

主要5工種における等級別発注請負工事金額別の状況 (単位：件、百万円、%)

区分		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
土木一式工事	A	172	14,380	86.57	153	12,366	88.11	166	14,163	89.36
	B	158	3,419	88.06	188	4,122	89.43	185	4,075	90.93
	C	118	959	85.69	126	1,107	89.35	137	1,204	91.18
	D	42	135	88.37	45	151	92.63	52	170	92.45
建築一式工事	A	14	5,219	88.83	5	1,031	92.06	23	7,079	93.66
	B	18	642	87.93	13	345	90.01	18	548	92.96
	C	19	177	91.54	18	229	93.10	11	125	91.95
電気工事	A	28	1,794	80.93	23	1,404	89.38	35	2,029	87.87
	B	14	112	83.11	19	150	87.84	16	141	90.17
	C	9	20	91.11	6	16	86.56	3	11	86.32
管工事	A	21	1,373	95.65	9	604	93.45	8	1,167	96.69
	B	14	110	93.00	12	109	94.91	9	102	95.36
	C	5	14	92.44	2	7	89.38	0	0	—
舗装工事	A	51	1,758	82.88	43	1,425	85.33	56	1,901	87.29
	B	33	261	81.09	28	210	83.28	26	216	86.14
	C	5	14	80.30	10	31	85.63	7	25	91.16
計		721	30,387	86.71	700	23,307	88.98	752	32,956	90.38

【参考】 等級別発注請負工事金額 (単位：万円)

区分	土木一式工事	建築一式工事	電気・舗装・管工事
A	4,000 ~	8,000 ~	1,500 ~
B	1,500 ~ 4,000	2,000 ~ 8,000	500 ~ 1,500
C	500 ~ 1,500	~ 2,000	~ 500
D	~ 500	—	—

2 履行能力確認調査の状況

・平成 24 年度以降の一般競争入札で低入札調査基準価格を設定した件数に対する調査件数の発生率は平成 24 年度が 2.4%(5 件)、平成 25 年度が 1.9%(4 件)で、平成 26 年度は 0%(0 件)であった。

・低入札価格調査件数が減少したのは、平成 26 年度から以下の低入札対策を講じた成果であると考えられる。

- (1) 追加で求める技術者は全ての工事において専任とする。
- (2) 公告に定める同種同規模の完成実績を、主任（監理）技術者及び追加で求める技術者の両者に求める。
- (3) 主任（監理）技術者及び追加で求める技術者に発注工種に関する工種の平均点を超える完成実績を求める。
- (4) 主任（監理）技術者及び追加で求める技術者は、現場代理人を兼任することができない。
- (5) 関係書類の提出期限を、資料提出依頼通知書等から 3 時間以内とする。

一般競争入札における低入札の状況

(単位：件、%)

区 分		件数	調査基準 価格設定 件数	履行能力確認調査			
				低入札 価格調査 件数	低入札率	落札者とし なかつた 件数	排除率
平成 24 年度	一般競争	686	206	5	2.4	0	—
	総合評価	206	206	5	2.4	0	—
平成 25 年度	一般競争	682	212	4	1.9	0	—
	総合評価	212	212	4	1.9	0	—
平成 26 年度	一般競争	713	263	0	0	—	—
	総合評価	263	263	0	0	—	—

・平成 26 年度においてくじにより落札決定された割合は 18.4%であった。平成 25 年度と比較すると約 0.5%、平成 24 年度と比較すると約 8%下がっている。

・平成 24 年度以降は、一部予定価格の事後公表を実施したことに伴いくじ件数が減少したものと考えられる。

くじの状況

(単位：件、%)

年 度	一般競争入札		指名競争入札		競争入札 (合計)	
	全件数	くじ件数	全件数	くじ件数	全件数	くじ件数
平成 24 年度	686	202 (29.4)	130	15 (11.5)	816	217 (26.6)
平成 25 年度	682	148 (21.7)	130	5 (3.8)	812	153 (18.8)
平成 26 年度	713	148 (20.8)	119	5 (4.2)	832	153 (18.4)

3 総合評価方式の実施状況

- ・公共工事における「価格のみの競争」から「価格と品質で総合的に優れた調達」への転換を目的とした「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が平成 17 年 4 月に施行されたことを受けて、更なる工事品質の向上を図ることを目的に、総合評価方式を平成 18 年度から試行し、平成 24 年度は 206 件（簡易型：180 件、標準型：26 件）、平成 25 年度は 212 件（簡易型：184 件、標準型：28 件）実施した。
- ・平成 26 年度における総合評価方式の入札件数は 263 件（簡易型：231 件、標準型：32 件）で、契約金額は約 289 億円（簡易型：約 158 億円、標準型：約 131 億円）であった。
- ・一般競争入札中、総合評価方式の占める割合は、件数では 36.9%、契約金額では 80.3%を占めている。
- ・総合評価方式の平均落札率は 88.99%で、一般競争入札全体の平均落札率の 89.57%より約 1%低くなっている。
- ・総合評価方式により最低価格者以外が落札した逆転件数及び発生率は 101 件、38.4%となっている。

平成 26 年度 総合評価方式の入札状況

(単位：件、百万円、%)

区 分	件数	契約金額	一般競争に占める割合		平均 落札率	最低価格者以外の落札	
			件数	契約金額		件数	逆転率
一般競争入札	713	36,044	—	—	89.57	—	—
総合評価方式	263	28,952	36.9	80.3	88.99	101	38.40
簡易型Ⅰ型	189	14,193	26.5	39.4	88.83	77	40.74
簡易型Ⅱ型	24	1,224	3.4	3.4	86.73	10	41.67
簡易型Ⅲ型	18	404	2.5	1.1	89.08	4	22.22
標準型Ⅰ型	4	5,652	0.6	15.7	97.72	0	—
標準型Ⅱ型	28	7,479	3.9	20.7	90.70	10	35.71

※最低価格者以外の落札件数には、最低価格者が同額で複数者いる場合で技術点が高く落札決定した件数も含む。

※ 総合評価方式における落札決定方法

予定価格の制限の範囲内で入札を行った者のうち、落札者決定基準に基づき算定した点数の総和（加算点）に標準点（100点）を加え、入札価格で除して得られる数値（評価値）が最も高いものを落札者として決定する。

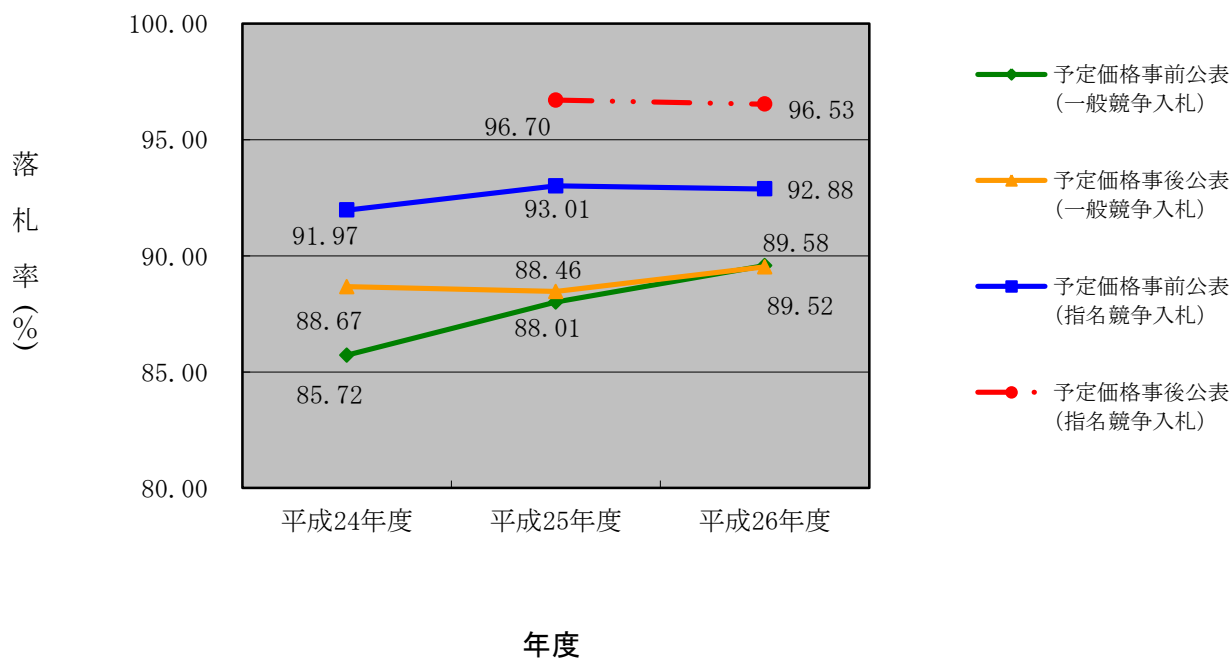
4 予定価格事後公表の実施状況

- ・総務大臣、国土交通大臣からの公共工事の入札及び契約の適正化の推進に関する要請や、近年の事後公表を行っている自治体数の漸増を踏まえ、一定の対応をする必要があることから、平成24年度から予定価格の事後公表を一部の案件において実施した。
- ・平成26年度は、総合評価一般競争入札のうち標準型の全件（32件）及びその他の発注件数の2割程度（175件）を対象とした。

予定価格事後公表の実施状況

(単位：件、(%))

年 度	予定価格事前公表 (一般競争入札)		予定価格事後公表 (一般競争入札)		予定価格事前公表 (指名競争入札)		予定価格事後公表 (指名競争入札)	
	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
平成 24 年度	647	85.72	39	88.67	130	91.97	—	—
平成 25 年度	530	88.01	152	88.46	121	93.01	9	96.70
平成 26 年度	518	89.58	195	89.52	107	92.88	12	96.53



II 建設業関連業務委託編

1 契約状況

平成26年度における建設業関連業務委託の契約件数は、607件(一般:225件、指名:325件、随契:57件)で、契約額は約31億円(一般:約8億円、指名:約19億円、随契:約4億円)であった。

契約件数は、平成25年度と比較して42件増加、平成24年度と比較して113件増加しており、契約額は、平成25年度と比較して約3億円増加、平成24年度と比較して約6億円増加している。

また、平成23年度から入札契約の手続に関する透明性、公平性を確保するため一般競争入札を導入し、平成26年度においては225件実施した。

平成26年度における一般競争入札の落札率は87.25%であり、平成25年度と比較して約1%上がっているが、指名競争入札の落札率(89.05%)と比較すると約2%低くなっている。

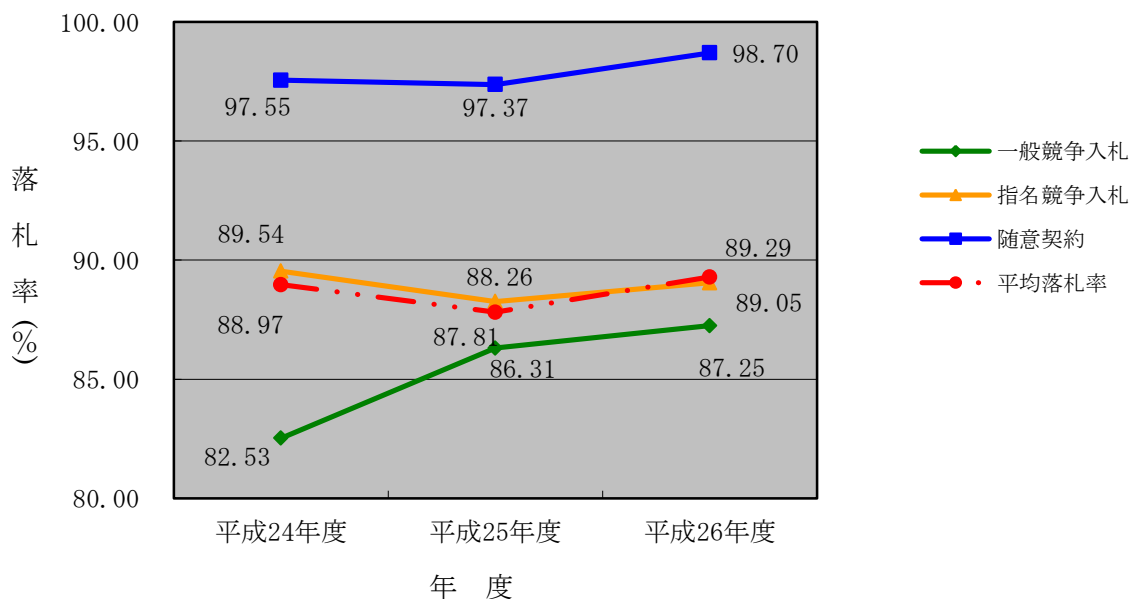
(1) 主なデータ

発注方式別の契約状況

(単位:件、百万円、%)

区 分	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
一般競争入札	72	305	82.53	191	582	86.31	225	762	87.25
指名競争入札	394	2,031	89.54	361	2,159	88.26	325	1,893	89.05
随意契約	28	119	97.55	13	82	97.37	57	418	98.70
計	494	2,455	88.97	565	2,823	87.81	607	3,073	89.29
一般競争の割合	14.6	12.4	—	33.8	20.6	—	37.1	24.8	—

発注方式別落札率



(2) 業種別の契約状況

業種別の契約状況

(単位:件、百万円、%)

区 分	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
測量	88	244	86.61	84	257	83.84	77	195	83.17
建築関係 コンサルタント	11	142	86.55	28	117	79.30	21	186	79.34
土木関係 コンサルタント	270	1,676	91.02	290	2,005	89.27	336	2,174	90.89
地質調査	50	139	83.57	55	193	84.66	70	257	87.69
補償	75	254	88.34	108	251	90.80	103	261	91.73
計	494	2,455	88.97	565	2,823	87.81	607	3,073	89.29

・平成26年度における建設業関連業務委託の平均落札率は89.29%であった。平成25年度と比較すると約1%、平成24年度と比較すると約0.3%上がっている。

・最も落札率の変動が大きい業種は建築関係コンサルタントで、平成25年度と同等に推移しており、86.55%(平成24年度)から79.34%(平成26年度)と3年間で約7%下がっている。

・落札率が最も高い業種は、補償で91.73%であった。平成25年度と比較すると約1%上がっており、90%台を変動し最も高い落札率となった。

・落札率が最も低い業種は、建築関係コンサルタントで79.34%であった。平成25年度と同等に推移しており、70%台を変動し最も低い落札率となった。

業種の年度別落札率

